

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会 一般社団法人設立記念講演会終了報告

日時：平成 23 年 9 月 4 日（土）10:00～12:00 兵庫県看護協会 3 階研修室 3

10:00 開会

会長挨拶

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

川島 龍一 会長

来賓挨拶

兵庫県健康福祉部社会福祉局高齢社会課介護事業者係長

上月 浩 氏

一般社団法人移行の説明

兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

小田 美紀子 副会長

講演

「これからの訪問看護の役割について」

講師：聖隷クリストファー大学 大学院教授

川村 佐和子 氏

12:00 閉会

挨拶

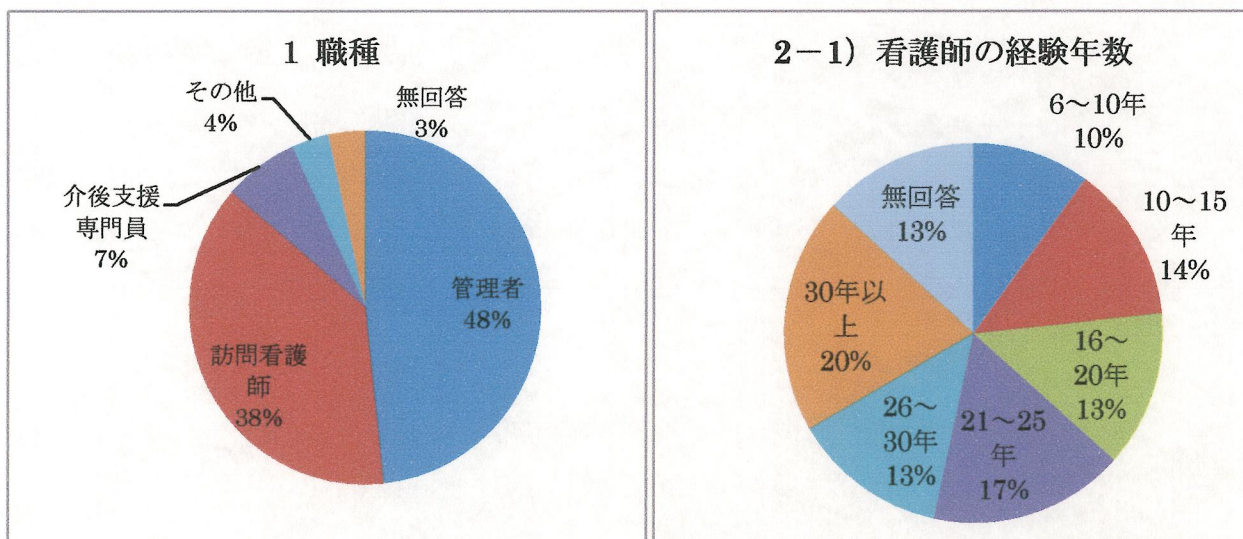
兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会

谷澤 義弘 副会長

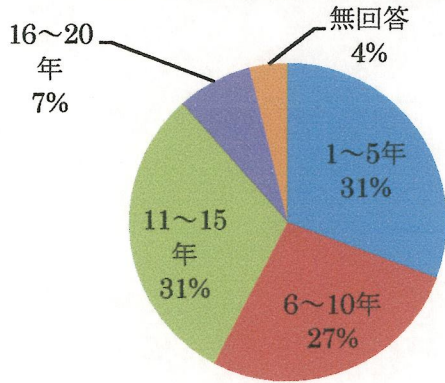
参加者 48 名

【講演会アンケート結果】

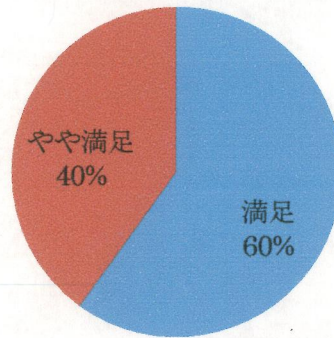
回答者：講演会参加者 48 名、回収枚数 26 枚…回収率 54.1%（アンケートは A4 用紙 1 枚）



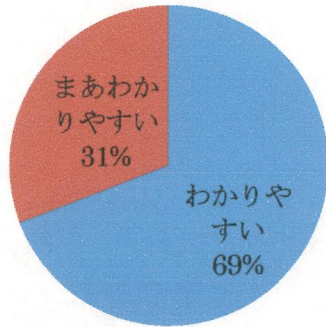
2-2) 訪問看護師の経験年数



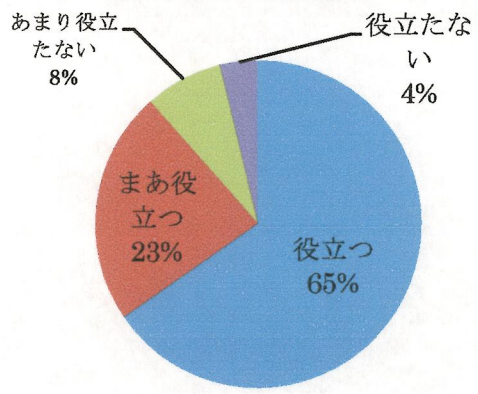
3 講演会に参加していかがでしたか？



4 講演内容はわかりやすかったですか？



5-1 講演会の内容は、これからの仕事に役立ちますか？



5-2)、 5-1) の理由

- ・今後、高齢者及び要介護者が急増していく中で、いかに効率よく訪問し運営していけるか、ステーションの課題となった。(個人経営のため、大規模化は困難)
- ・ステーションの今後の方向性を考える機会になった。社会の動きが分かった。
- ・看護師養成カリキュラムが変更になるため、自分も今まで以上に勉強が必要だと思った。
- ・ステーションの今後の方向性を考える機会になった。社会の動きが分かった。
- ・看護師養成カリキュラムが変更になるため、自分も今まで以上に勉強が必要だと思った。
- ・今後、社会の中で、ますます必要とされる看護であることを再認識することができた。これからも自信を持って業務にあたっていきたい。
- ・24年度の改正点について
- ・法的な視点から訪問看護を考えるきっかけになりました。現在に至るまでの流れもよく理解できました。
- ・自分として何ができるのか、改めて考える機会となりました。
- ・今回の一般社団法人化する意義がよくわかりました。訪問看護—在宅看護の今後の可能性があると思えた。
- ・実践の中では難しい問題が山積み
- ・今後、看護師に期待されることや方向性も理解できた。

- ・ 現場の実情は地域によって異なり、あまりヒントが得られなかった。
- ・ 訪問看護ステーションの経営、組織、教育の考え方が自分なりに整理ができ訪問看護の役割の拡大の方向性、課題が理解できた。
- ・ 今後の流れがわかった。
- ・ 当STは行政が主体であり、大規模化し臨時雇用が困難と思われます。意識づけにはなりました。
- ・ 講演内容が積極的であるのは評価できる。しかし、訪問看護ステーションを取りまく背景や現場訪問師の意見がどうか、取り上げて欲しい。
- ・ 以前より講演内容の一部を聞いていた事があり、その時は、ただ理想はそうであるが・・・と思っ
ていましたが、インターネットの時代、今の現状を少しでも改善できるよう情報をとりながら法人に伝
えていける現場である事を再認識。
- ・ 社会状況を含め、わかりやすくご指導くださり、ありがたかった。パワーポイントの資料があれば、
もっとよかった。

6 今後、研修会で取り上げて欲しいテーマ、講師の希望

- ・ 看護技術の研修・デモンストレーション
- ・ 療養通所介護の現状
- ・ ステーションの経営分析
- ・ エンゼルメイク 小林千恵さん

7 今後、一般社団法人兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会活動に対するご要望・ご意見など

- ・ 会長が言われたように、大雨と暴風の警報で中止でなく、一つだけでも警報が出たら中止にした方が
よいと思います。
- ・ 医師会、地域包括との協力による研究事業への取り組みができるとよい。兵庫県内の独居高齢者支援
の為のネットワークをどう構築するか、そこから訪問看護ニーズの拡大につながる取り組みを。

以上